	西暦	和暦	巻数	分類	目録	補目	題	作者	本文頁	作者名	生没年など	備考
3			1	文章上	賦		惜雲知隠賦	江 以言	2	大江 以言	955～1010	『本朝文粋』従四下式部大輔・文章博士
4			1	文章上	賦		春雪賦	紀 納言	3	紀 長谷雄	845～912	『本朝文粋』従三位、文章博士・大学頭
5			1	文章上	詩	春試詩	五言奉試賦得歴事為志	江 匡衡	3	大江 匡衡	952～1012	一条天皇時代 正四位下 文章博士・蔵人頭・式部大輔　維時孫
6			1	文章上	詩	古調詩	霜二名	源 英明	3	源 英明	～939	宇多源氏 父参議相正 母菅原道真女 従四位上 左近中将　937カ
7			1	文章上	詩	雨調詩	山家秋草	紀 納言	4	紀 長谷雄	845～912	『本朝文粋』 従三位、文章博士・大学頭・讃岐大守 神詩
10			1	文章上	詩	雑合詩	雑合詩	橘 在列	5	橘 在列	944出家	氏公流 父駿河(『文粋』作者表示)、弾正少弼
11			1	文章上	詩	金部詩	金部詩	藤 敦隆	5	藤 敦隆	～1120	末工助補敦隆之孫人か
12			1	文章上	詩	金部詩	金部詩	藤 公明	5	藤 公明		
13			1	文章上	詩	金部詩	金部詩	江 政時	5	大江 政時		源時方 匡時1歳(『なんぼ文匡房 大学頭・式部権大夫・肥後守
14			1	文章上	詩	題文詩	題文詩	橘 在列	5	橘 在列	944出家	藤原公章の詩判 題に注意
15			1	文章上	歌		春風華歌	橘 在列	6	橘 在列		
16			1	文章上	歌		春風華歌	平 兼材	6	平 兼材		
24			1	文章上	歌		春風華歌	紀 納言	11	紀 長谷雄	845～912	母況は紀貫之。本文は紀納言。
25			1	文章上	歌		高風秋月情之四句歌	源 順	11	源 順	911～983	嵯峨源氏 父管 四条大納言大江朝望第 従五位上 勘登守
29			1	文章上	詩文		都山水歌遊曜聯春傳詩文		12			
28			1	文章上	賦		御賦筋　　敏英平安王(半多天皇)	橘 澄明	12	橘 澄明	887～3993	年賦英和作賀昭宣公。年賦英平安王。和歌以藤原基経は宮平三年(891)薨去
29			1	文章上	賦		柳子賦	橘 良香	13	橘 良香	834～879	父春原倉橋(『都氏文集』)カ(『文徳実録』の編纂に、
30			1	文章上	賦		金鈴賦　非序	菅 江山	13	菅原文時	899～981	以前で祖父命婦之住と、即作賦日、道真孫　父高視　文章博士・大内記・右中弁・大学頭
31			1	文章上	賦		新菅作賦賦		13			
33			1	文章上	賦		橘太無非序	都中書王	14	源 兼明　兼明親王	914～987	朋輩天皇皇子　母藤原雪嶺女 臣籍降下し左大臣となるも、安和の変の影響を受けて親王に
34			1	文章上	賦		鏡夜文賦　非序	江都督	14	大江匡房	1041～1111	匡衡曾孫学者無双　正二位　権中納言・式部大輔・権中納言・後三条～白川～堀河天代の時詩
37			1	文章上	詩		春神詩	紀 納言	16	紀 長谷雄	845～912	従三位、文章博士・大学頭 朋輩天皇時詩
38			1	文章上	詩		秋海棠詩	源 順	16	源 順	911～983	父参議正躬 三代歴任の歴官に
39			1	文章上	詩		忠賢詩　非序	藤 敦隆	17	藤原敦隆	～1120	末工助藤原敦隆
40			1	文章上	詩		四方明海賦	後中書王	17	具平親王	962～1009	村上天皇皇子　母代明親王女目子 二品　中務卿　号千種殿
41			1	文章上	賦		天台智者大師賦	橘 在列	18	橘 在列	944出家	氏公流 父駿河(『文粋』作者表示)、弾正少弼
42			1	文章上	賦		聖徳太子賦		18			
43			1	文章上	賦		聖徳太子賦賦		18			
45			1	文章上	神		菜雨神	紀 納言	19	紀 長谷雄	845～912	従三位、文章博士・大学頭
46			1	文章上	神		賀茂神	紀 納言	19	紀 長谷雄	845～912	『本朝文粋』 従三位、文章博士・大学頭
47			1	文章上	神		関中神　三首中	橘 公明	20	橘原公明		
48			1	文章上	歌		海花歌	紀 納言	20	紀 長谷雄	845～912	『本朝文粋』 従三位、文章博士・大学頭
49			1	文章上	歌		歌白髪句	紀	20	紀		
50			1	文章上	曲		預明天曲	紀	20	紀		
51			1	文章上	曲		恒星中三首　劫江南曲賦	藤 実兼	21	藤原実兼		藤原実兼は公実男又は忠親男(高階通実父)と考えられ、共に12世紀前半の人
52			2	文章中	博		実来道道博		22			
56			2	文章中	引		応思古金言幕話則以古語五十編、見段下之弊忘来、予聞都抽取、抽関未豊。	惟宗孝孝	27	惟宗孝孝		左金吾藤原延経
58			2	文章中	引		孟子曰仮令孟子、孝経幕話則、一抽別成、両巻入巻、不信言既、聞頗紹思、怀本頼、	菅子子	28			菅子子(惟宗孝孝)の「反令引」に和して
60			2	文章中	引		況子子作反令引、孝経幕話則、菅子反頗以和之、予以不子、無伴抽取、慢抽之翼之抽。	惟宗孝紀三善為康	28	三善為康	1049～1139	惟宗孝紀三善為康は「新野詳載」編集者当人「新野詳載」一応の成立は永久4年
74			2	文章中	貴位		天台山不思功徳感歌貴位		34			菅原文時之孫か
84			3	文章下	起請		山平起請	都中書王	44	源 兼明	914～987	朋輩天皇皇子　母藤原雪嶺女 臣籍降下し左大臣となるも、安和の変の影響を受けて親王に
86			3	文章下	啓文		朝倉言大師尊重啓文	中納言大江匡房卿	45	大江匡房	1041～1111	匡衡～孫源　大納年は匡房1年(1077)月16日
105			3	文章下	記		江納言幕年詩記	都江納言	63	大江匡房	1009～1111	文中の右中弁藤原有信は承徳3年(1099)年次　以降1111年の間
108			3	文章下	記		詩境記	都江納言	64	大江匡房	1041～1111	
107			3	文章下	記		秋長清相記	都江納言	65	大江匡房	1009～1111	承徳2年(1098)9月大宰府下向以降か
108			3	文章下	記		遊来記	都江納言	66	大江匡房	1041～1111	
109			3	文章下	記		晩鐘子記	都江納言	67	大江匡房	1041～1111	
110			3	文章下	記		筑紫宰記	都江納言	67	大江匡房	1009～1111	承徳2年(1098)9月大宰府下向以降か
112			4	部類上	除目時大外記相撲接遊文書		除目時大外記相撲接遊文書		72			
112			4	部類上	除目中文目録		除目中文目録		75			
122			4	部類上	院宮御願	内裏王室中文	一品(第)子内親王室		77			
123			4	部類上	院宮御願	重様	中名望		78			
124			4	部類上	院宮御願	重様	中国望		78			
126			4	部類上	諸宮諸象	重様	王元海		81			
127			4	部類上	諸宮諸象	重様	高内親王室中文		83		様式	
128			4	部類上	諸宮諸象	重様	宣昇中文		84		様式	
147			4	部類上	氏長中文	重様	氏長　藤氏		88		様式	
159			4	部類上	補女官	重様	惟補女未給基準		90		様式　藤中国祭	
161			4	部類上	院宮諸文		宿者中中国者中点検機関功績賞		90	関者中中国者点		
164		三月二十九日	4	部類上	諸文		御加女国国二枚事	左近少将有家	97	左近少将藤原有家頭文	1091～1104カ	藤原有家は貞治5年1月には左少将であり長承1年まで在少将であった
165		三月二十九日	4	部類上	諸文		国三枚事	内蔵頭頭	97	内蔵頭頭末頭文	1083～1097カ	正治位下内蔵頭源政長とする。完治7年12月27日から承徳元年(1097)月の年次まで
216			6	神祇官	中臣祭文		中臣祭文		136			
234			6	神祇官	御状	重様	諸状神祇官移宣仕宮司		195			
235			6	神祇官	象状		高市郡社　頭永神会一馬原内伐天非放大		195			
240			6	神祇官	大神宮勅使接法		伊勢大神宮勅使接法		154			
255			6	太政官	太政官請象		頭山御造文五宝勅宣宣被補左右衛門佐生除弁遊使	才原忠宝安信宗重	165		1130カ	安信宗重の補陪弁遊使は文治5年カ
257			6	太政官	官中政申回		頭申文　返抄　頭度文		166			
258			6	太政官	官中政申回		内記頭申文　頭目申文　四日申文　十六日申文		167			
259			6	太政官	官中政申回		梅事抽頭　兼除補抽頭　勘出抽頭　減食抽頭　居符抽頭　不與状抽頭　解由抽頭		168			
260			6	太政官	官中政申回		請罰抽頭		169			
273		十月十五日	7	民 部	諸陵寮管轄		諸陵寮管轄管轄長者宣	修理職大夫藤原朝臣	177		1120.5.18	『中右記』には安元年5/18明遠が諸陵寮遊興に指名されている
300		四月	7	民 部	豊亀事物使送印書	重様	豊亀事物使使左印書		197			摂北藤原勘通　内蔵大臣　藤原正
301			7	民 部	豊亀使奥渡宣符		太政官符下　下総常陸等国符		198			現和C中C月の住宅に対するもの
308			7	公卿愛	神名録	重様	熱大高大正宮		198			
327			8	祝 各	式部省勾留下知状	重様	少録法		210			
348			8	祝 各	神祇官御印各	官符	御神饌御印各　某姓某印各	左大臣宣	234			
360			9	功労	信者中宣		頭(式部権少輔藤文章博士大江朝臣匡衡)書任和中中	大江匡衡	236			大江匡衡の弁官補任なし
368			9	功労	申請都頭		頭民部恒隆源朝臣基基被詳有勘都頭申受信宣	惟宗基基	238			『除宣』長和3年1月12日条に「下総守惟宗基基参詳国道申文」あり
369			9	功労	諸作分史議原		正六位上行常宿中史高原宿祢重出	高原重忠	240			頭以非博士議源朝臣重出
405			11	延郡	検非違使供給	官宣旨	為私行幸日祭恵行者祭等入奉迎助行		260			右大臣宣　奉勅　検非違使左衛門尉少弱安信延行
406			11	延郡	検非違使供給	官宣旨	為今法師祭人	権中納言藤原長家	260		1023～1029	権中納言藤原朝臣長家宣　権中右佐は治安三年～万寿五年
450			12	内記	詔勅		新羅国勅勅符	都中書王	298	源兼明	914～987	
451		正月一日	12	内記	宣命	重様	正月元日　用書紙		298			書有証引由勅明日
452		正月七日	12	内記	宣命	重様	七日御日　用書紙		298			正月七日
453		正月七日	12	内記	宣命	重様	白馬　用書紙		299			正月七日
454		正月十四日	12	内記	宣命	重様	御厨書　用書紙		299			正月十四日
455		正月十六日	12	内記	宣命	重様	踏歌　用書紙		299			正月十六日
456		三月　中申日	12	内記	宣命	重様	石清水臨時祭　用書		299			三月中申日「去天徳元年臨時勅天」
457		四月　上申日	12	内記	宣命	重様	平野祭　用書		300			四月上申日「去宮和元年臨時勅当」
458		四月　中酉日	12	内記	宣命	重様	賀茂祭　用書		300			四月中酉日「十一月臨時祭用此状。但加賀平御代臨時祭出給之字」
459		八月十五日	12	内記	宣命	重様	放生會　用書		301			八月十五日「去延久二年臨時勅天」
460		九月十一日	12	内記	宣命	重様	伊勢神嘗祭　用書		301			九月十一日
461		十一月　中辰日	12	内記	宣命	重様	新嘗祭　用書紙		302			十一月中辰日
462			12	内記	宣命	重様	大原祭		302			
463			12	内記	宣命	重様	御鎮伝		302			
464			12	内記	宣命	重様	御即位		303			
465			12	内記	宣命	重様	告即位於天神宮		304			
466			12	内記	宣命	重様	告鎮国　御即位		304			
467			12	内記	宣命	重様	告雨乞　御即位		305			
470			12	内記	宣命	重様	一代一度　大神宮		306			
471			12	内記	宣命	重様	立皇太子　皇太後		306			
472			12	内記	宣命	重様	立后宣命品後		307			
473			12	内記	宣命	重様	為王参宮		308			
474			12	内記	宣命	重様	為王造出		309			
475			12	内記	宣命	重様	賀茂祭王上家		309			
480			12	内記	宣命	重様	平信宣使		309			天暦2年閏7月書宣 書簡が宣旨出に現ホーって以降
481			12	内記	宣命	重様	勝地例宣命		310			
482			12	内記	宣命	重様	伊勢内宮		310			
483			12	内記	宣命	重様	伊勢外宮		311			
488			12	内記	宣命	重様	位豊樂		312			
492			12	内記	奉勅次第	重様	甘二日奉勅次第		315			
493			12	内記	位記宣旨	重様	奉位記宣旨		315			
494			12	内記	位記	重様	神位記		315			
495			12	内記	位記	重様	惟解位記		316			
496			12	内記	位記	重様	惟宏位記		317			
504			13	紀事	書詩類	重様	仲文		330			
505			13	紀事	書詩類	重様	文土宴		330			
506			13	紀事	書詩類	重様	文子　品宴　晩令		330			
507			13	紀事	書詩類	重様	朝王　公卿宴　晩教		330			
508			13	紀事	書詩類	重様	北野　吉祥院宴　他社准之		331			
509			13	紀事	書詩類	重様	新宴		331			
510			13	紀事	書詩類	重様	文家宴		331			
511			13	紀事	書詩類	重様	神書宴		331			
512			13	紀事	書詩類	重様	勅撰書　恩沢中		331			
513			13	紀事	書詩類	重様	社尺　放鳥尺		331			
514			13	紀事	書詩類	重様	講書		332			
515			13	紀事	書詩類		于四開子		332			
518			13	紀事	記事詩		神武即帝橿原即天地神一首　以入為的七言八韵	藤原仲実	333			
532		十一月二十三日	13	紀事	和国史		食金堅生藤原家之子経等詩刺事	藤原実光	337	藤原実光	1115～1122	藤原実光の左少弁在任は1115～1122
540			13	紀事	部書歌集		公四位下和泉博士紀朝宗貴成　同　財	紀貴成	339	同　作者大江匡房　財　花園赤相	1041～1111	大江匡房の生没年
542			15	陪膳道	日時勘文	重様	陪可武徳対面日時		366			
565			15	陪膳道	日時勘文	重様	陪陪恭輝申可被申遂折用書止用御物後於内生川上 長奇弾社日時		370			
566			15	陪膳道	日時勘文	重様	陪陪恭輝申可被行御所二丁重日時		371			
567			15	陪膳道	日時勘文	重様	陪陪恭輝申可被行御所御修日時		371			
569			15	陪膳道	日時勘文	重様	陪陪恭輝申可被行御所令法華堂日時		372			
570			15	陪膳道	日時勘文	重様	陪陪恭輝申可鼎事令遂日時		372			
571			15	陪膳道	日時勘文	重様	陪陪恭輝申遂供奉明年正月元日御薬宣女事		372			
581			15	陪膳道	金鶏罰文		金鶏罰文		382			
585		保安	15	陪道	陪陪修事生	重様	陪陪修事生事		384	陪陪士二人連書	1120～1124	保安年間　1120.4.10～1124.4.2
586			15	陪道	陪陪修事生	重様	陪陪恭輝　申請陪陪修事生事		385	関白家家	1132.1.22～	関白家家の日立主計頭兼摂政陪陪博士信長権守は長承1年1月22日から、保元は保延2年8月
589			15	陪道	陪事生宣符	重様	大政官符　陪陪恭輝事生事人事		387	行政文筆		大中臣敦忠の孫か。権医博士清原為時の息子
611			16	仏事上	僧法運頂		陪法運頂戴文		406	阿闍梨勝仲		仲仲(仲覚)は『中右記』では長治2年(1120)の最終記事
612			16	仏事上	僧法運頂		勅使送来		407	東後阿闍梨仲		長保は阿闍『中右記』初出は長承元年(1106)　すでに阿者梨であった
613			16	仏事上	勅誡送来		勅誡送来		408			
654			17	仏事下	付法僧	加入文	唐金手制象別置所一取白		429			
665			17	仏事下	付法僧	加論文	山王院千手観世音等等護身	等覚	434			北都山入院の一つ　智証大師円珍の修験法天安2年(858)
673			20	大宰府	付管国	有関使	来国司牌　請次第司勝長等　為向任国		444			
674			20	大宰府	付管国	補許検非違使	補許検非違使		445			
677			20	大宰府	付管国	南島来人管符	南島住民来人向其国品長事		447			
678			20	大宰府	付管国	長国物勝勝	長牛二百頭　牛車等		448			
693			21	諸文	太宰勝次第		原信俊朝鮮往生要集於大宋国書	恵心僧都	462	源信	985～1017	『往生要集』の成立は天和元年　源信の年中は天仁元年
704			21	諸文	太宰勝次第		四条今松　申請　勝利等　為公請私信地印戸主		472			藤原氏家短状・火災による公験紛失にたいするもの　火災は1077～1080
706			21	諸文	給赤印官符	重様	為拝亡母藤原内侍国	源敦節	473			
707			21	諸文	給赤印官符	重様	藤敦敦位平部臣博時第一部事	平親時	474	国重一貞信一親時一重方	981	親時文親母は天元4年(981)年次
708			21	諸文	陪物官符	重様	為治病向温泉　可治正和一千束		474			
711			21	諸文	南軍		国取軍勝		475			
712			21	諸文	南軍		北陸取軍勝		476			
713			21	諸文	南軍		東海取軍		477			
714			21	諸文	陪軍相文	武文	大宰府陪軍相文		478			
716			21	諸文	産所結書		為文者教序　五安国		479			
723			21	諸事	祭文	重様	公卿以下出月記陪		488			
725			21	諸事	祭文	重様	公卿以下出本百未陪陪		489			
726			21	諸事	祭文	重様	殿上王殿巳下出最人所陪		489			
731			21	諸事	祭文	重様	国宣勝時修観察文陪		489			
752			22	諸国諸事上	史遊国日代		伯馬国伯国管人　母下諸事		500			
753			22	諸国諸事上	史遊国日代	重様	史遊国日代　国宣　在国管人等		505			
754			22	諸国諸事上	史遊国日代		遠新国清遊輔清代輪		505			朋輩遊氏清基カ
755			22	諸国諸事上	使所在雑事状	重様	使所在雑事状		506			加賀守から新任国司宛
756			22	諸国諸事上	般船羽許書	重様	般船(の)許書		506			現任国司から新任国司宛
757			22	諸国諸事上	能所		信濃国司能符　藤原各平		508	従五位下藤原各平		藤原字文男各紀の四位兄弟カ
761			22	諸国諸事上	能所		他国国司能符　平忠盛		508	従五位下平忠盛	1117ころ	平忠盛任官　永久3年ころカ
772			22	諸国諸事上	由所提	重様	美国国次国々　可勘諸基隆身諸物事		515			
776			22	諸国諸事上	国所様々事		国所各々年貢　42ヶ条		517			『国司の最任に当たっての心得』的なもの
778			22	諸国諸事上	校文		諸国博奥		525			
804			26	諸国公文中	申文登使	重様	国司報　諸使下達諸文登使		550			
805			26	諸国公文中	申文登使		申文登使文　無題文		550		953以降	天暦7年(953)6月13日付け宣旨以降、新百寺金の開の受領に関して
807			26	諸国公文中	性名供申文登使		国司報　諸国進先供給諸文登使		551			参議正三位左兵衛督藤原朝臣に諸国等を人物として藤原経通が万寿3年に補任前守など
832			27	諸国公文下	主計寮等　主税寮		有権国時々年正税文具諸物事		586		1066ころ	治暦四年(1066)までの20年間のこと
861			28	諸国功過	雑勘	重様	功過可所定　山城国		598			